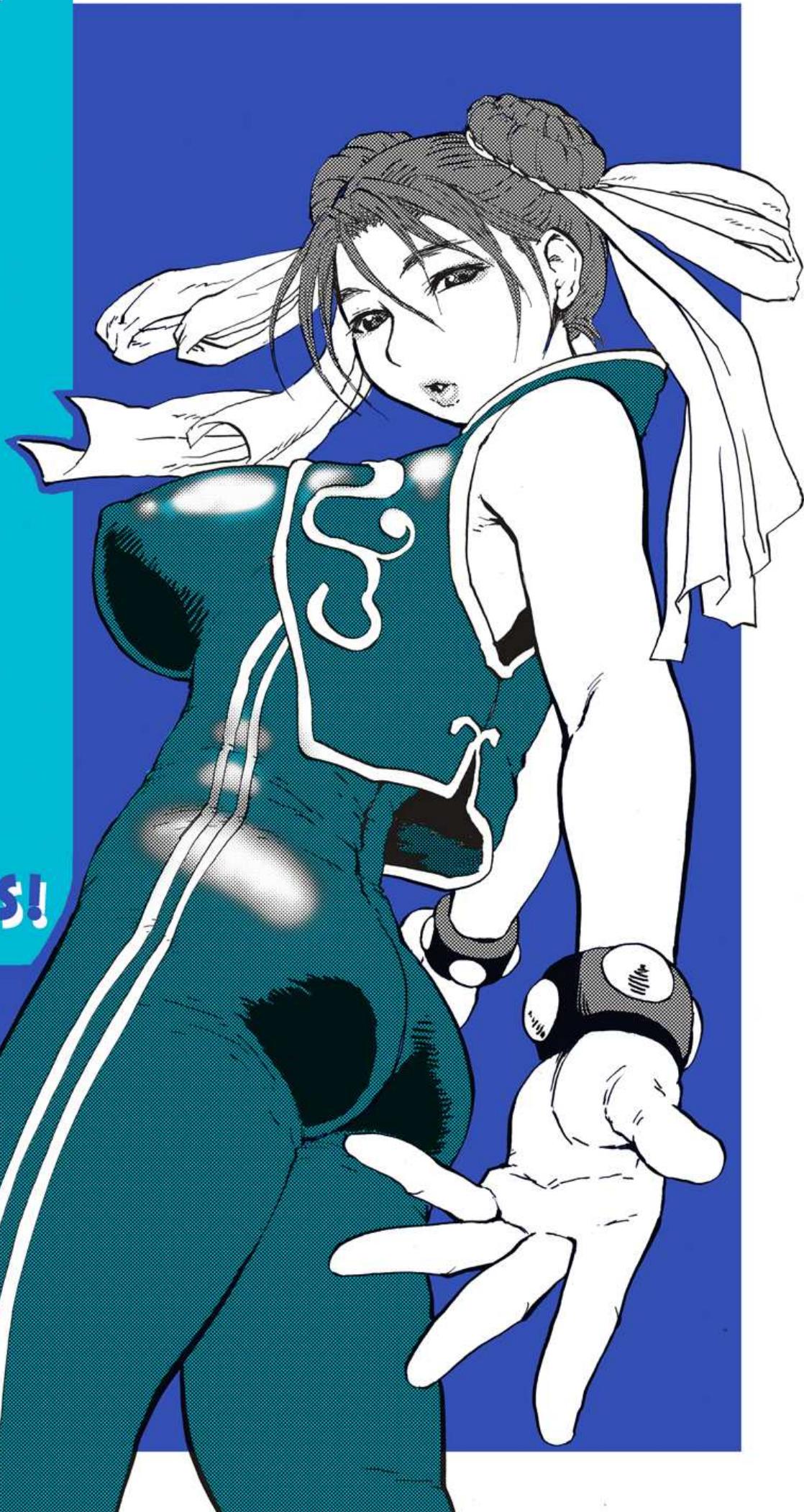


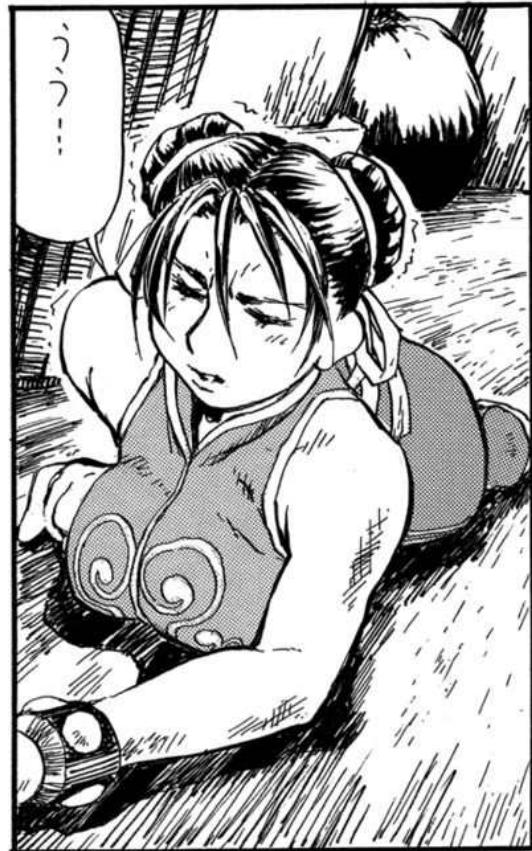
SIRI-CHUN

シリ春

FOR ADULTS!

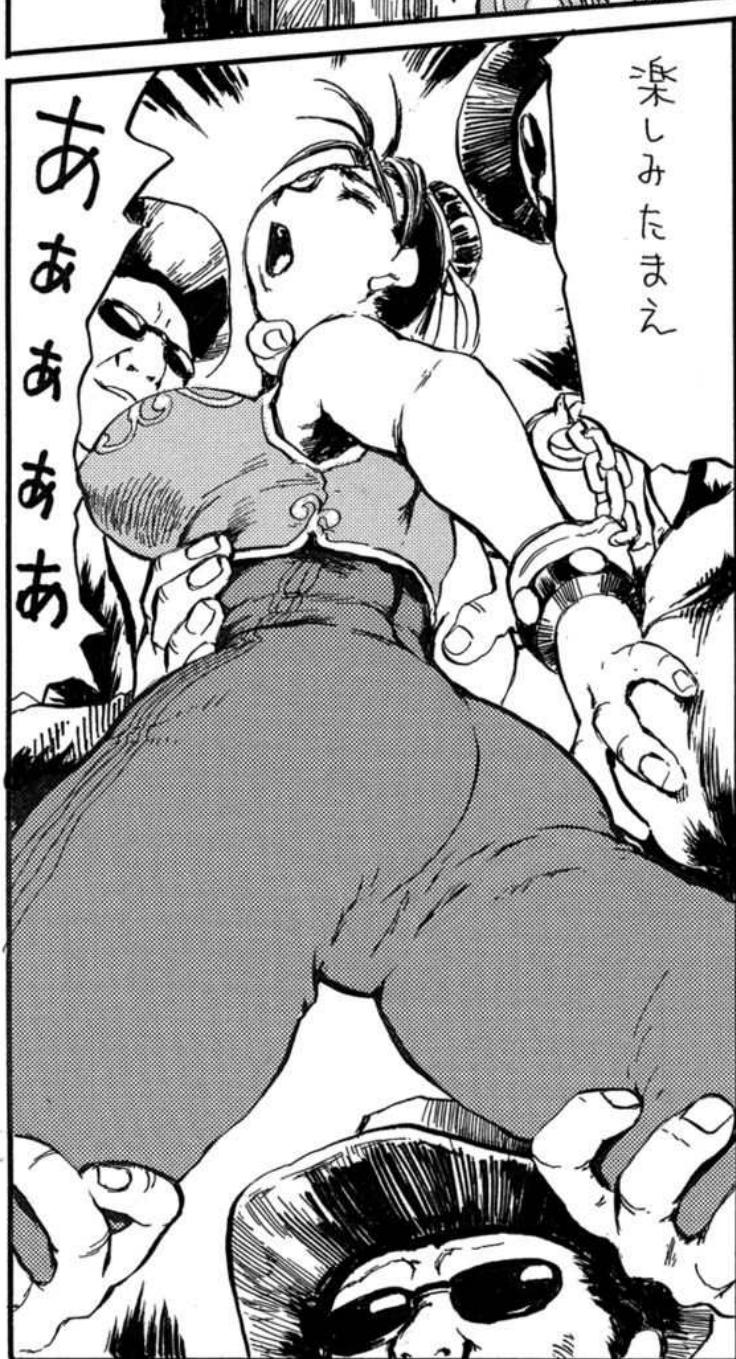






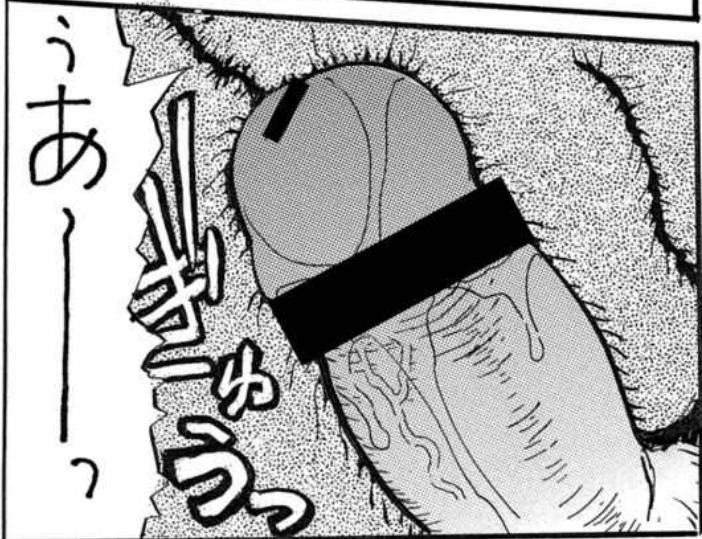














NEX







殴る
殴る

ああ

ああ
うわあ

19

犯さる...
穴とキローブ穴を
男達に身体中の
約30人ものシャドラー
この後私は3日間

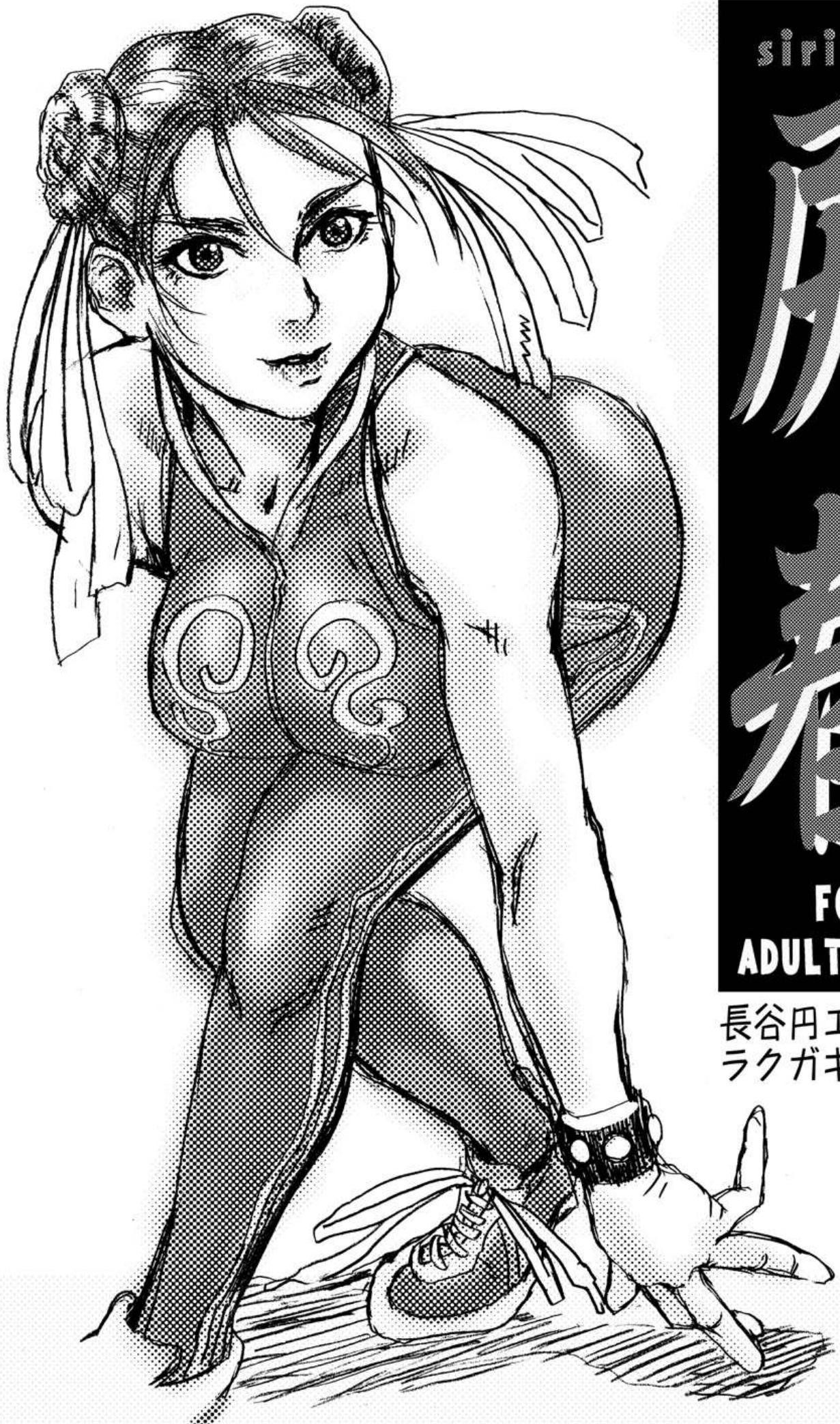
まだまだ
二歩からだせ
ベバアヒジキねえ



殴る

おいく?

いや続かないかも。



siri-chun

スリーチュン
筋
者

FOR
ADULT ONLY

長谷円エンピツ
ラクガキ絵本



ひょんな事から
スパロボ4コマ作家の
畔地潔地氏と今度のコミケで
パロディ対決する事に
なってしまって、

春麗さんを描く事に
なってしまいました。
オリジナル畠の長谷には
非常に不慣れな
カテゴリーであります。

この本は
その対決のための
リハビリラクガキ本
なのでございます。

鉛筆でお見苦しい所も
あると思いますが、
物珍しさという事で
ほんの少しだけお付き合い
頂けたらうれしいなど
思っております。

「なぜZEROチュンなのか!?」
その辺は作者にも謎なのでございますが。

「カミングアウト」ってわけでもないんですが、実はワタクシ
格闘ゲームという物が全くプレイできません。

TVゲームはたまにやるんですが、どうやら普通の人の
反射神経のレベルでは無いようです。
もしくは、指先が極端に不器用なのかも。

「なんでそんな奴が格闘ゲームのキャラ描けるんだよ」
とか畔地さんにも言われたんですが。まあ受けてしまった
勝負なので、その辺は観察力とかで何とかするとか。

好きな作家さんが
いらっしゃるので、
カプコンさんの
画集は
出るたびに
購入させて
頂いております。



CRMKさん（昔BENGUSとか名乗ってましたか）と
えだやんさんの絵が好きで、仕事中によく
参考にさせて頂いております。
キヌさんとAKIMANさんはその次くらいでしょうか。
皆さん漫画家さんより上手なので参ってしまいます。

では、あらすじと言うかおおまかにストーリーなんかも。

あらすじ

ICPO（国際警察機構）の麻薬捜査官に赴任したばかりの
ZEROチュンさんは独りで売り出そうと躍起になってる
青ニ才だった…

バカやってイキがったあげくの果てに彼女は
犯罪組織シャドルーに手を出した…

なんとか這いずって逃げようともがいたが
彼女はもう身動きがとれなかつた…

薬の実験台にされて像がのた打ち回るような
催淫剤を何本も投与されてしまったのだ。



手足はしびれて身体は芯からうずき、
脳まで感覚に支配されて思考を停止した。

どれつの回らない舌でひわいな言葉を
口にするうちに彼女はいつしか
関西弁を話していた。

彼女を毒牙にかける男たちは、自ら実験台となって
ドーピングで猛獣のように成り果てたシャドルー隊員達。
陵辱、輪姦、拷問。
彼女に対するあらゆる行為を許された屈強な猛獣達。

彼女が完全に墮ちる瞬間を今かと待っている。

そして…彼女の理性は溶解し崩れ去り、猛獣たちの荒れ狂う肉体を求める。
そこに存在するのは、つい数分前まで権力機構の前衛だった…タダのメス犬。



はよ…はよ…
我慢…我慢…
でけん…
うら…
ちせん…
ええ…



「アナルで肉棒を受け入れた経験が無いらしく
関西弁で必死に抵抗を試みる
ZEROチュンさん。」

スパッツを通し彼女の柔らかく弾力性のある
アナルが太い指を押し帰そうとする。

意に介さず欲望のままに攻撃を続ける猛獣たち。



スパッタを引き裂いて怒張した肉の杭が
彼女の初々しく可愛らしい小さな穴に埋没していく。

未知の体験。言葉にならずに悲鳴とも叫びとも
うめきともつかぬ様な声を漏らす。
その声は彼女を取り巻く猛獣たちをさらに喜ばせた。

今にも襲いかかりそうな男たちは彼女が身も心も
壊れていく姿を瞬きもせずに凝視している。

そして、深く刺さったそれは動き始めた。





わああ



数日後、香港市街のゴミ捨て場で廃人同然の彼女が発見された。
手足の骨を折られていたが一命はとりとめた。

殺さずに精神を粉々に破壊し恐怖を植えつける、
---これが、この組織「シャドルー」のやり方なのだ。

2003年冬のコミケ65にてサークル「鶴ヶ島ハイツ」出された本の第3版です。
何の因果か現在もこの同人誌は続きの本が出てしまっております。
機会がある方はどうかご覧いただけすると幸いでございます。
作者HPでも同人誌の在庫を通販しております。

今後も鶴ヶ島ハイツと長谷円の商品をよろしくお願ひいたします。

2005 夏 鶴ヶ島ハイツ代表 長谷円



鶴ヶ島ハイツ 第6回配本
「尻春(しりちゅん)」
著作 長谷円
発行 '03・12・30 鶴ヶ島ハイツ
04・11・03 第2版
05・08・14 第3版

HP(通販もやってます)
<http://hasetubura.boo.jp>

禁・無断転載・無断複製

※78歳未満の購読を禁じます。

※実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。

※この本に掲載されている作品は犯罪を教唆するものではありません。

※この本に掲載されている物語はフィクションです。

まねをしないで下さい。

屁 音